

# Chapel News

2009年7月 No.8

## 「<sup>あぶ</sup>蛇なのか、風なのか」

私という存在は他の人々にとってどんな存在なのだろうか、時々そんなことを考えます。そういう時吉野弘の「生命は」という詩に出会いました。とても心深く感銘を受けました。一部省略して御紹介します。

生命は自分自身だけでは完結できないようにつらわれているらしい。  
花もめしべとおしべが揃っているだけでは不十分で、虫と風が訪れて  
めしべとおしべを仲立ちする。  
生命はその中に欠如を抱き、それを他者から満たしてもらうのだ。  
世界は多分、他者の総和  
.....

花が咲いている。  
すぐ近くまで蛇(あぶ)の姿をした他者が光をまとって飛んできている。  
私も あるとき 誰かのための蛇だったろう。  
あなたも あるとき 私のための風だったかもしれない。

この詩人は自分一人では自分の人生を完結できないと考えています。自分の人生の花を咲かせ実を实らせるには、他者の存在(蛇や風など)が欠かせないと信じています。これはキリスト教の考えにとっても近いと思います。創世記2章18節に「人がひとりであるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう」と神が言われた、とあります。

自分自身は欠点が多く決して完全なものではありません。でも謙虚に自分の役割を果していけば他の人々の花を咲かせるお手伝い出来るかもしれません。その時私は Only One for Others となる。蛇なのか風なのかは知らないけれど。

(聖学院みどり幼稚園園長 濱田 辰雄)

## ★ ★ ★ 年間聖句 ★ ★ ★



よくよくあなたがたに言うておく。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。

(ヨハネによる福音書 第12章24節)

## \*\*\*夏のリトリート\*\*\*

テーマ「絆～人との繋がり～」

日程：7月30日(木)

～8月1日(土)

場所：ホテルグリーンフラザ上越

費用：12,500円

× 切：7月16日(木)



リトリートとは「修養会」という意味です。聖書を学びながら自分の生き方を振り返るひと時です。

多くの学生・教職員の参加があり、毎年皆が楽しみに待っている会です。聖書の学びにプラスして、レクリエーションや楽しい企画も用意されています。キリスト教を知らない人でも全く心配いりません。どうぞお気軽にご参加下さい。



※申し込みは、申し込み用紙に費用を添えて  
キリスト教センターまで提出して下さい。  
※定員になり次第締め切ります。

全学礼拝プログラム<7月14日~7月17日>

7月14日(火)		7月15日(水)	
奨励者	渡辺 善忠 先生 (日本基督教団巣鴨教会牧師)	佐藤 逸子 先生 (児童学科特任講師)	
司会者	柳田 洋夫 先生	岩崎 日和 姉 107C	
奏楽者	ナيتينゲール 亜衣 姉	清水 貴子 姉	
讃美歌 交読文	539番、354番 交読文 41(マタイ伝 5章)	541番、332番 交読文 42(マタイ伝 6章)	
聖書	ルカによる福音書 第24章 36~43節(新約 P.134)	ペテロの第一の手紙 第4章 12、13節(新約 P.370)	
奨励題	「霊と体」	「偶然と必然」	

7月16日(木)		7月17日(金)	
奨励者	相川 徳孝 先生 (児童学科准教授)	松本 周 先生 (総合研究所助教)	
司会者	佐野 正子 先生	左近 豊 先生	
奏楽者	清水 貴子 姉	佐野 正子 先生	
讃美歌 交読文	543番、298番 《ハンドベル讃美奉献》 520番“しずけき河のきしべを”	545番、531番 交読文 1(詩 1篇)	
聖書	ローマ人への手紙 第15章 7節(新約 P.252)	マタイによる福音書 第11章 28~30節(新約 P.17)	
奨励題	「わかりあう」	「平和への招き」	

☆☆ 聖学院教会 祈祷会 ☆☆ ※7/30から8月末まではお休み

【木曜日 18時30分~19時30分 於 緑聖ホールC室】

7月16日 イサヤ書 8章 東野 尚志牧師  
7月23日 イサヤ書 9章 菊地 順チャプレン (キャンパス祈祷会)

全学礼拝プログラム<7月21日~7月22日>

7月21日(火)		7月22日(水)	
奨励者	山田麻有美 先生 (児童学科准教授)	阿部 洋治 先生 (大学チャプレン)	
司会者	阿部 洋治 先生	菊地 順 先生	
奏楽者	渡辺 善忠 先生	佐野 正子 先生	
讃美歌 交読文	545(下)番、243番 交読文 3(詩 8篇)	546番、390番 交読文 6(詩 23篇)	
聖書	ローマ人への手紙 第5章 1~5節(新約 P.238)	コリント人への第二の手紙 第1章 2~7節(新約 P.278)	
奨励題	「ゆめと希望」	「患難に会うにしても」	

《聖書一口メモ》

聖書は「旧約聖書」と「新約聖書」の二部からなっています。旧約聖書は英語で「The Old Testament」と言い、新約聖書は「The New Testament」と言います。Testamentというのは「契約・約束」という意味です。誤解してならないのは決して「The Old Bible」とか「The New Bible」とは言わないことです。旧約だけ、新約だけでは決して「Bible」すなわち「聖書」とは言わないのです。



ユダヤ教の方にとっては、私たちの「旧約聖書」が聖書の全てであって、トーラー(律法書)、ネビーーム(預言書)、ケスビーーム(諸書)の三部構成になっています。しかし私たちにとっては旧約聖書と新約聖書とが合わさってはじめて「正典としての聖書」なのです。

- 主の祈り -

天にましますわれらの父よ ねがわくはみ名をあがめさせたまえ 万国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ 我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく 我らの罪をもゆるしたまえ  
我らをこころみにあわせず 悪より救い出されたまえ  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン